

Rose-Hulman での2回目の quarter も半分が終わり、ここでの授業も4分の3が終わりました。今学期も前回と同じく3つの科目を受講しています。今学期の授業もペースが掴めて来ました。授業の様子を報告します。

CSSE463 Image Recognition 画像処理の授業です。画像から特定色を抽出したり、色の変化の激しい部分をエッジとして検出したりと、実用的な授業です。授業にはMATLABを使っています。理由は行列の計算が簡単に出来るからでしょう。MATLAB のライセンス料は学費の中に入っていて、大学のサーバからダウンロードすれば使える状態になっていました。私はKITの夢工房でロボカッププロジェクトに参加していますが、今までは画像処理は担当していませんでした。この科目で画像処理の事が分かってきました。

GL291 World Geography は地理の授業で、最初の3週間はヨーロッパの地理を学びました。今は中東の地理についての講義の途中です。今後はアジアの地理についての講義がある予定です。私は今まで真面目に地理を勉強して来ませんでしたが、アメリカにいると様々な国から来ている人に出会う機会があり、世界の地理の知識の重要性が身にしみて分かります。

RH131 English Rhetoric and Composition 英語での文章の書き方、英語でのプレゼンテーションの仕方を学んでいます。まず理論的な説明をして、その後実際に文章を書いたり短い発表をするといった流れです。クラスの中で私以外は全員ネイティブの English speaker なので、付いていくのが大変です。この科目に限った事ではありませんが、授業直後や放課後に質問に行く事が良くあります。教師の仕事は学生の質問に答える事も含まれていて、そのために学費を払っていると思うので、悪い事ではないと思います。KITにいた頃はあまりオフィスアワーなども使っていませんでしたが、今後は分からない事があったら早いうちに質問して行こうと思います。

先日、私が住んでいる寮で避難訓練がありました。以前友人の寮を訪ねていた時に一度経験していましたが、今回は真冬の寒い時期にTシャツ一枚だった所を外に出されました。Rose-Hulmanでは各Dormitoryで定期的に避難訓練があります。日時は知らされませんが、学生が部屋に戻っている夜に実施されるようです。突然サイレンが鳴って建物の外に出なければいけません。住民がちゃんと外に出て避難しているかどうかをレジデンスアシスタントが確認し、その後問題が無ければ部屋に戻る事ができます。

会津大学からRose-Hulmanに留学生が一人来ていましたが、3週間の予定を終えて会津に帰っていきました。Rose-Hulmanと会津大学は交換留学の制度を確立しようとしている最中で、去年初めて実験的に数人の学生が会津からRoseへ来ていたそうです。今年は去年とは違い、1名が個人的に3週間という短期間の留学でした。まだ単位の互換制度が確立してないため、会津大学の授業は休学という形でこちらに来ていたそうです。

以前の報告書でKITの授業とRose-Hulmanの授業の進め方は同じ程度だと書きましたが、KITは1年3学期制ですがRose-Hulmanでは1年4学期で、1つの学期がKITよりも短い事を忘れていました。一つの科目で進める学習の量はKITより少し少ないと思いますが、授業数が少ない事もあり、授業の進め方はKITよりも少し早いと思います。

早いもので、Roseにはもう4ヶ月近くいる事になります。最近気温が低く、池や水溜りは凍っています。湿度が少ないので雪はあまり降っていません。ここでの生活には慣れてきましたが、部屋がルームメイトとの相部屋というのは今でも慣れません。今は冬季休業中で、友人宅にホームステイさせて頂いています。アメリカ式のクリスマスの過ごし方を体験しました。Roseで受講している科目では特に宿題が出ていないので、新年が始まる前に実験を進めておきたいと思います。